

研修内容（いしかわ保育・教育アドバイザー養成研修）

いしかわ保育・教育アドバイザー派遣は、東京大学Cedepが開発した園内研修ツール「HoiQ（ホイキュー）」をアドバイザーも訪問園の保育者も活用し、子どもの姿を起点に園の保育・教育について語り合う。

【1. 座学研修】 <進行：金沢星稜大学 開教授>

日程・方法

- ・ 日程：令和7年8月8日（金） 13:00～17:00
- ・ 方法：Zoom（オンライン）

事業説明

（13:00～13:15）

- <説明：金沢星稜大学 開教授>
- ・ アドバイザー派遣事業の趣旨・目的について
- ・ アドバイザーの役割・心得について

HoiQについて

（14:25～17:00）

- <講師：東京大学（Cedep）>
- 講義「HoiQとは」
- 演習「視点の共有や新たな視点への気づき」「話の引き出し方や聞き取り方」

【2. 実践研修】

派遣と研修を兼ねる

- ・ 派遣に際しての謝金・旅費を支払う（県の規定による）

アドバイザーチーム

- ・ 1チーム3人以上、チーム員は地域や施設類型がなるべく異なるように編成
- ・ チーム内でリーダーを決め、訪問園と打合せを行う
- ・ 日程が合えば、学識経験者も同行

訪問園

- ・ アドバイザー候補の園に協力を依頼

日程調整

- ・ アドバイザーチームと訪問園とで訪問日を調整（令和7年9月～令和7年12月）
- ・ 報告を受けた県は、学識経験者と日程調整

園に訪問

※原則、訪問して実施。場合によってはオンラインも可。

【例1】アドバイザーが視点を決める

○10:00～11:30

- ・ 訪問園から園の保育（現状）の説明
- ・ 保育観察

○11:30～13:00

- ・ お昼休憩
- ・ アドバイザー間で、HoiQのリストから、どの視点で語り合うか検討、決定

○13:00～14:30

- ・ 保育観察を受けて、視点に沿って子どもについて語り合う

【例2】訪問園が視点を決める

○10:00～11:30

- ・ 訪問園から園の保育（現状）の説明
- ・ どういう視点で見ていただきたいか、園側からアドバイザーに伝える
- ・ 保育観察

○11:30～13:00

- ・ お昼休憩
- ・ アドバイザー間での打合せ

○13:00～14:30

- ・ 保育観察を受けて、視点に沿って子どもについて語り合う

【3. 振り返り】

- ・ 全アドバイザーが集まり、研修全体の評価、意見の集約
- ・ 日程：令和8年1月20日（火）14:00～16:00
- ・ 方法：Zoom（オンライン）